

職務経歴書

2026 年 1 月 16 日

山内 雄司

1. 職歴

1996 年 4 月～1996 年 10 月

株式会社サンマルク（外食産業、ベーカリー部門 FC 指導員）

1996 年 10 月～2000 年 3 月

齊藤博文税理士事務所（税務会計、法人監査・決算確定申告業務担当）

2000 年 5 月～2003 年 4 月

株式会社日本デジタルコミュニケーションズ（通信販売、ドコモショップ副店長）

2003 年 10 月～2006 年 7 月

株式会社井原放送（CATV 事業、総務部係長、ISO27001 構築担当）

2006 年 8 月～2012 年夏

株式会社アーツ情報システム 代表取締役（IT 企業、システム開発・保守）

主要実績：総務省事業受託（約 1.2 億円）、倉敷市 IT ライフサイクル管理システム開発、
ISO27001/ISO20000 構築、年商 1.4 億円規模への成長

2012 年冬～2015 年

NPO 法人はれの国 設立支援（障害福祉、就労継続支援 B 型事業所立ち上げ）

就労継続支援 B 型ひだまり（愛媛県今治市）設立支援

2013 年～2015 年

NPO 法人チャレンジド尾道 事務局長（障害福祉事業、就労支援事業所運営）

5 事業所（就労継続支援 B 型 4、多機能型 1）立ち上げ、利用者約 100 名・スタッフ約 35 名の管理

2016 年～2021 年 5 月

一般社団法人アンマー 事務局長（障害福祉事業、就労支援事業所運営）

就労継続支援 B 型シェル開所支援（後に多機能型へ変更）

井笠地域自立支援協議会 就労部会部長就任

岡山県セルフセンター 副所長・営業責任者就任

社会福祉法人（職員 400 名・年商 40 億円）DX 推進事業受託

就労移行支援 ACT01（神奈川県川崎市）開所支援

2021 年 7 月～2023 年 11 月

合同会社 DUG 研究所 代表社員（障害福祉事業）

就労移行支援コーリングサポ笠岡 開所・運営（管理者兼サービス管理責任者）

2023 年 9 月 脳出血により入院、同年 11 月 事業所閉所

2024 年 5 月～2024 年 12 月

一般社団法人クロスファーム（障害福祉事業、就労継続支援 A 型→B 型）

管理者兼サービス管理責任者、A 型から B 型への事業転換対応

2. 社会における活動

2016 年～2021 年

井笠地域自立支援協議会 就労部会部長

2018 年～2021 年

岡山県セルフセンター 副所長・優先調達受注推進担当

2019 年～2021 年

岡山県農福連携サポーター

2023 年 11 月～2024 年

ピアサポート組織「Rel（レル）」設立・運営（就労移行支援利用者の継続支援）

3. 著作・論文等

1. ①「教育機関におけるクラウドコンピューティングの活用」

②共著（小松原実教授との共同研究）③2010 年頃④岡山商科大学『商大レビュー』Vol.19 産学官連携センター共同研究

2. ①「令和 3 年度 情報通信技術人材育成活用事業 成果報告書」

②主著（事務局担当として作成）③2011 年 3 月④総務省提出（くらしき観光情報プラットフォーム事業）

3. ①「地域 ICT 利活用広域連携事業 成果報告書」

②主著（事務局担当として作成）③2011 年 3 月④総務省提出（クラウド基盤上の視覚・聴覚障害者参加型バリアフリー行政サービスシステム構築事業）

4. 資格等

資格名	取得年月	授与権者
学士（商学）	1996 年 3 月	岡山商科大学
普通自動車第一種運転免許	1993 年	岡山県公安委員会
サービス管理責任者実践研修修了	2024 年 7 月	岡山県

5. 受賞・表彰

該当なし

【参考】研究遂行に関連する能力・経験

■ 福祉分野（10 年以上）

- ・新規事業所立ち上げ：10 事業所（就労継続支援 B 型 6、就労移行支援 2、多機能型 2）
- ・管理運営：最大 5 事業所、職員約 35 名、利用者約 100 名

- ・支援データ蓄積：NOCC による自尊感情測定（10 年分）、音声記録（5 年分）
- ・重度ケース対応：傷害致死事件関係者支援、意思決定支援等の実績

■ IT・システム分野

- ・ISO27001/ISO20000 構築・取得経験（3 法人）
- ・総務省事業（約 1.2 億円）の企画・運営・報告書作成
- ・LLM（大規模言語モデル）活用による研究プロセス構築
- ・データ構造化（YAML/Markdown 形式による支援記録整理）

■ 会計・監査分野

- ・税理士事務所での法人監査・決算業務経験（約 4 年）
- ・複式簿記の思考様式を福祉研究に応用（「累積環境因子」概念の着想源）

以上